

カナダの金融市場動向 Weekly Report

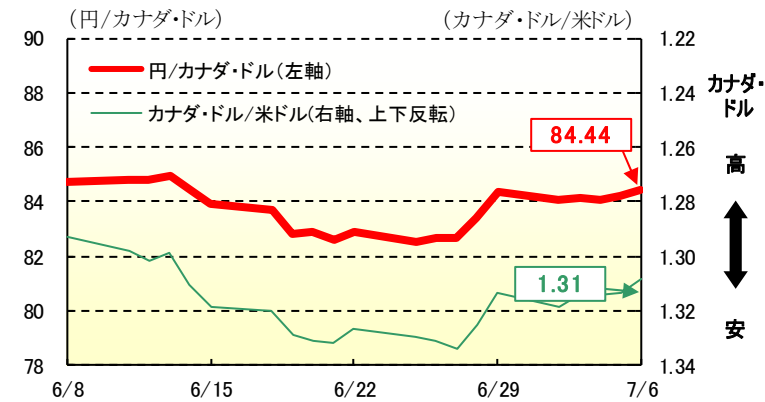
【2018年6月30日～2018年7月6日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は小幅に上昇しました。カナダ5年国債利回りはほぼ横ばいでした。

原油価格が堅調に推移したことで、カナダ・ドルも安定的に推移しました。週末には、米国雇用統計が発表され、平均時給が市場予想を下回ったことで米ドルが下落した為、カナダ・ドルは上昇しました。経済指標では、6月の製造業PMI(購買担当者指数)が改善したほか、同月の雇用統計では平均時給の上昇率は鈍化したものの、労働参加率が上昇しました。また、5月の貿易収支が発表され、予想以上に赤字幅が拡大しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年6月8日～2018年7月6日)



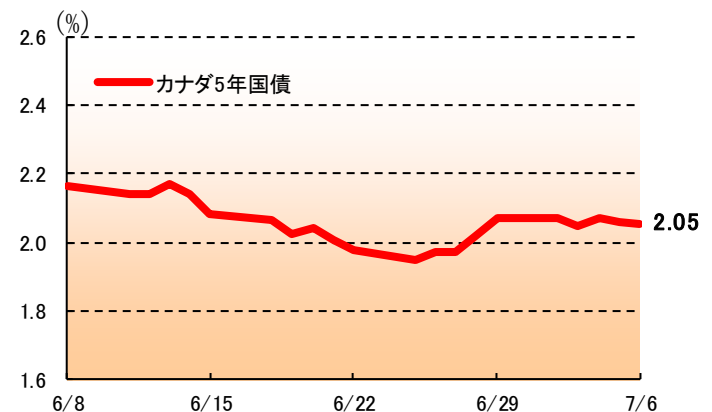
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、11日(現地)にカナダ銀行(中央銀行)の政策金利の発表を控えています。2018年1-3月期のGDP(国内総生産)は軟調な住宅市場の影響から低い成長率となりましたが、4月以降は景気持ち直しの動きが確認されており、市場では利上げが有力視されています。

経済指標では、住宅関連の指標が複数発表されます。6月の住宅着工件数は、前月の軟調な結果から回復するかどうか注目しています。

【カナダ 金利推移】 (2018年6月8日～2018年7月6日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>